



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 9. 12(月)
No. 21
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

「笑育（わらいく）」で発想力やコミュニケーション能力を身に付けよう！

9月7日（水）、菊池市教育委員会の事業である「笑育（わらいく）」の取組として、大阪から松竹芸能所属の漫才コンビ「セバスチャン」と「コンチェルト」の2組が来校し、本校6年生に2時間の授業をしていただきました。「笑育」は、漫才など笑いの芸能を体験することで、発想力やコミュニケーション能力を育てることを目的としています。

台風11号の接近で前日は来校できず、当日の朝大阪を出発し、熊本空港から直接泗水小に来校されました。漫才を見せていただいた後、子どもたちが、あいうえお作文やショート漫才を考え、みんなの前で発表しました。最初は緊張気味で、発表することをためらっていた子どもたちも、楽しい進行で次第にほぐれてきたのか、多くの子どもたちが進んで発表してくれました。

次回は12月に来校されます。6年生は、それまでにテキストを使って全員が漫才を作り、練習して発表に臨みます。どんな発表をしてくれるのか、今から楽しみです。



プロとコンビを組んでショート漫才に挑戦しました！

朝の読み聞かせがスタート！ご協力ありがとうございます

9月8日（木）に読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせがスタートしました。これから毎月一回の予定で、文化委員さんなどPTAの皆さんや泗水図書館、しすいっ子童話会などのご協力により実施していただくものです。

当日は読み聞かせが始まると、どの教室もしんと静かになり、読み聞かせに集中して聞き入る子どもたちの姿がありました。子どもたちはとても楽しみにしているようです。朝のお忙しい時間帯になりますが、ご協力をよろしくお願いします。



読み聞かせの様子

☆校長室から独り言18☆

親から子へ習慣も受け継がれる？

私は、毎朝30分間ほど自宅周辺をウォーキングしてから学校へ出勤しています。ハードなトレーニングは長続きしない性格なので、疲れないうちにゆっくりと歩いています。習慣になったからでしょうか。やらないと何かムズムズしてきて、雨が降っていても傘をさして歩いています。

子どもの頃は、小学5年生から中学3年生まで、毎朝2～3kmランニングをしてから学校へ行っていました。始めたきっかけは、小学4年生から始めた野球でピッチャーをすることになったからです。「ピッチャーは走りこまないとコントロールが良くならない」とコーチに言われて始めました。毎朝、父が私を起こしにきます。私が眠い目をこすりながら出てくると、父が先に走り始めます。少し遅れて私もスタート。しばらく走ると父に追いつき、後半は大差をつけて家に帰る毎日でした。5年間続けましたが、父と一緒に走っていただければ続かなかっただろうと思います。野球ではそれほど成果が表れませんでした。校内持久走大会で1位になったり、中学で駅伝の選手になれたのはこのランニングのおかげだったと思います。

先日、実家に帰ると父のスマートフォンがテーブルの上に置いてありました。万歩計を表示してみると、8000歩を超えていました。走ることはできませんが、80歳を超えても、毎朝ウォーキングは続けているようです。この父がいて、今の私があるんだなあと思ひました。